

## 2022年4月全体朝礼挨拶 尊厳を守る

2022年4月1日(金)朝

施設長 宮下正弘

皆さん、お早うございます。今日から令和4年の新年度に入ります。大きな雪山も随分低くなり、さわやかな朝日の中で迎えられることを嬉しく思っています。

まず新年度新しい仲間を迎えることを喜ばたいと思います。後程辞令交付がありますが、リハビリテーション科に作業療法士の神原さんが秋田大学保健学科を卒業して今日から勤務されます。早く施設に慣れて力を発揮してくれることを願っています。また同じ法人のうぐいす城東から人事交流で介護福祉士の佐々木さんが介護係に加わります。

次にウクライナ難民救援の募金をお願いしましたところ、28日から昨日までの4日間で33,100円が集まりました。短期間でこれだけ集まったことに驚きでしたが、職員皆さんの温かい心に感謝申し上げます。本日、日本赤十字秋田県支部に届けます。我々福祉関係の施設は皆さんに支えられることに慣れて、余り寄付の文化が根付いていない感がありますが、これからも平穏な日々を送れることに感謝して、不幸な状態の方々を支える活動にも目を向けていきたいと考えています。

さて、2月24日ロシア軍のウクライナ侵攻以来1月以上を経過、沢山の人命が失われ、住み家は焦土となり、500万人とも言われる膨大な難民が発生しております。将に「人道の危機」の状態です。戦争は何をやってもいい、と思われがちですが、人類は幾多の戦争の惨禍を経験して、「戦争のルール」を作り上げてきました。それが「国際人道法」とも呼ばれる「ジュネーブ条約」です。戦争にも“ルール”があるのです。それを今語っている時間はありませんが、その、会議室の書棚に井上忠男書「戦争のルール」(宝島社・2004年)があります。ぜひ手に取って理解を深めてほしいと思います。

赤十字の思想を理論化した哲学者ジャン・ピクテは「人道をはばむ4つの障害」として、

次の4項を挙げています。

- 1, 利己心 **Selfishness**
- 2, 無関心 **Indifference**
- 3, 認識不足 **Lack of knowledge**
- 4, 想像力の欠如 **Lack of imagination**

我々福祉の仕事も、人生の最終段階の尊厳を守るものでもあります。心すべきことだと考えます。

さて、足元に目を移しますと、新型コロナウイルス感染が未だに終焉の気配が見えません。オミクロン株の変種 BA/2 が東京では半数を占め、置き換わりが進んでいます。県内でも我々のような高齢者施設のクラスターの発生がしばしば伝えられています。3月10日の報道では、それまでの全国発生クラスター21,164件中高齢者など福祉施設が最も多く、7,672件ということです。当苑では絶対ウイルスを中に入れない！の決意のもと取り組みが功を奏し、幸い感染ゼロで推移しています。本年度も引き続きよろしく願いいたします。兎に角持ち込まない、それに尽きます。

入所者の皆さんに目を移しますと、100歳を迎える方が、5月にSSさん102歳、10月KFさん、11月SYさん夫々102歳、HHさんが5月に101歳、7月にはSKさんが100歳の仲間入りをします。また在宅復帰の促進もみんなで取り組んでまいりましょう。

コロナのために例年と違い不安定な新年度の出発となりましたが、心を新たにして、日々の業務に励んでいただくことをお願いいたしまして、新年度初めのあいさついたします。